

「自律」「共生」～「Chance」「Change」「Challenge」の進化（深化）と完成～

# 南部中学校だより

2024・4・12 第1号

入学おめでとう！ 入学式 式辞より

南部町立南部中学校長 影本 純

南部町にも春が訪れ、学校の周りの桜も咲きほころぶこのよき日に、南部町教育委員会教育長 福田範史様、南部町議会議長 景山浩様をはじめ、町議会議員様、本校CS委員長様、PTA会長様、校区内小学校長様、保護者の皆さまにご列席いただき、子どもたちの新しい出発を一緒にお祝いさせていただきますこと、厚くお礼申し上げます。

さて、新入生の皆さん、入学おめでとうございます。先ほど名前を読み上げられ、いよいよ中学生になりました。今の気持ちはどうですか。おそらく期待と不安の両方の気持ちがあるのではないかと思います。

さて、小学生から中学生になるということは、どういうことでしょうか。

中学生は、小学生よりも、ひとつ大人に近づくということです。中学生はこれから「大人扱い」をされるようになっていくということです。ただ人生を十数年しか経験していない皆さんは、まだまだわからないこと、知らないこと、難しいこと、失敗すること、悩むこと、不安なことがたくさんあると思います。でも、それは当たり前です。今から一人前の大人になっていく、今まさにスタート地点に立っているのですから。

南部中学校は、教育目標として「自律」と「共生」という言葉を掲げています。

「自律」とは、自分自身を上手にコントロールすること、自分で判断し、正しく行動できることです。「共生」とは、みんなと共に生きること、自分や他人の良さを理解し、人と関わり合えることです。

この自律と共生の示すことは、大人になっていく中でとても大切なことです。他人任せにしたり、自分の気持ちのままに行動したり、周りのことを考えずわがままな行動をしたりしては、大人に近づけません。

中学校生活の中では、自分で判断して行動する、また、周りの人と協力して目標を達成する、そんな場面がたくさんあります。そんな場面を何度も経験し、失敗と成功を繰り返して



いく中で、これから大人になるための大切な力が育つのです。

そして、そんな体験を何度も何度も繰り返して、乗り越えたときにこそ、南部中学校がめざしている、「感動と一体感の共有」が感じられるのです。皆さんの頑張りとはチャレンジを大いに期待しています。

中学校の3年間は、あっという間に過ぎていきます。だから、今日からの一日一日を大切にして過ごしてほしいと思います。自分自身はもちろん、同じ学年の友達、南部中学校のすべての生徒や先生を大切に思い、みんなが笑顔で安心して過ごせる一日一日をみんなで創っていきましょう。そして、これからの中学校生活を積極的に、自分の力で楽しく、有意義なものにしていきましょう。

保護者の皆さま、本日はおめでとうございます。これからの3年間、教職員一同、子どもたちの成長をしっかりとサポートしていきたいと思います。今、申し上げましたように、これからの中学校での一つひとつの経験が、将来の子どもたちの自信と笑顔に繋がり、次のステップに飛び出す確かなエネルギーとなるように、学校と家庭、地域がともにしっかり心を合わせていくことが大切だと思っています。これからもどうぞよろしく願いいたします。新入生はもちろん、在校生にとっても希望に満ちた充実した日々が送れるように、全校生徒が力を合わせ、みんなにとって住みよく、活気のある南部中学校を創っていきましょう。

## 新入生 誓いの言葉

春の花が咲きほころぶ今日の良き日  
私たち三十六名は南部中学校の門を  
くぐりました

中学生になりより難しくなる勉強  
や初めての部活動に不安もあります  
が、仲間と過ごす中学校生活への期待  
で胸がいっぱいです。

小学校6年間で学んだ事を生かし  
て難しい事にも挑戦し、みんなと協力  
して頑張っていきたいです。

南部中学校の生徒として責任と自  
覚をもち、それぞれの目標に向かって  
努力することを誓います。

先生方、先輩方よろしく願いしま  
す。

令和六年四月九日

新入生代表 加賀見 悠李

新入生代表の加賀見悠李さんは春休み中から中学校に来て「新入生誓いの言葉」を一生懸命練習していました。文章中に「仲間と過ごす中学校生活への期待で胸がいっぱいです。」とあります。この期待にこたえられるよう我々教職員も全力で36名の新入生の学校生活をサポートしていきます。

